

「防災特別授業を受けて」

一年二組

井上

ひかり

私は、震災のころ長田区に住んでいました。一才の誕生日、一日十六日の幸せな日の次の日、震災が起こりました。誕生日が来るごとに震災のことが頭にうかんできます。もちろん一才たつた私は何も覚えていません。小学校の時から震災についていろいろ母から教えてもらいました。震災の時のビデオも残って

います。今日学んだインドネシア・スマトラ島での地震とほぼ同じで町中の人々が混乱していました。もしいのです。防災についての知識がなく、どうしたらいいのかということが分からなかつたのです。インドネシアの人々もきっと同じだったと思います。WASENDの人々の活動はとても良い事だと思います。いろいろな国の人々が少しでも防災についての知識を持っていき、自分の命を守ることが出来る死者の人数も減ると思います。震災は止める

ことは出来なけれど被害を減らすことはできません。そのためにも全世界に防災にっいての知識を持つということが大切だと思います。防災は自分の夢を叶えるための準備というものが今、私の頭に残っています。今回の防災特別授業、ありがとうございました。